



# UAゼンセン新潟

2022年3月10日 No.29

## 瓦片版

発行人 UAゼンセン新潟県支部  
支部長 飛田 博之  
編集人 高奥 邦英

### 連合新潟2022春季生活闘争勝利！新潟県中央総決起集会

2022年3月1日（火）、新潟ユニソンプラザにて、連合新潟は「2022春季生活闘争新潟県総決起集会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症が拡大して3度目、参加人数に制限を設けた中での決起集会となりました。今年の決意表明は、UAゼンセンからウオロク労組 那須野委員長、自動車総連から新潟マツダ自動車労組 西山委員長、日教組から高教組 高見執行委員の3名が行いました。それぞれが、ウイルス禍での業務の状況と、今年の春季生活闘争の要求貫徹に向けた熱い決意表明となりました。



こんばんは。私の職場はスーパーマーケットです。  
 「おいしく新しい食卓と豊かな生活を提供する」ことを使命とし、お客様に喜んでいただき、お役に立つためにコロナ禍において、地域のお客様の生活を支える事を喜びに日々奮闘しています。  
 UAゼンセンは、昨年2021労働条件闘争は「特異な年」として位置づけ、従来と異なる闘争を展開しました。ベアを含め着実に労働条件を前進させた加盟組合もありましたが、一方では、休業や一時的に他の職種への異動や出向を余儀なくされたことなどで、労働環境が毀損された加盟組合もありました。こうした労働環境の復元を目指し、労働条件向上の流れを、本年度も継続させる必要があります。  
 また、UAゼンセンでは、特に賃上げの根拠として生産性向上や業績拡大の配分を求めてきました。この考え方に変わりはありませんが、生産性向上・業績拡大は組合員の頑張りが必要不可欠です。労働組合として、組合員のその頑張りを支える、その努力に報いる賃金の引上げ、働き方改善・労働時間改善、そして成長に必要な人への投資に取り組み、それらを起点に消費拡大・デフレ脱却、景気回復、経済の好循環の実現を目指します。賃金が上がる社会・経済をつくらなければ、景気は良くなりません！  
 このような考えのもと、幣組では、生産性向上の成果を積み重ね、感染症の大変な中で、エッセンシャルワーカーとして地域生活を支えてきた全ての組合員、正社員は4.03%、短時間組合員は雇用形態間の格差是正等踏まえ7.27%の賃上げ要求をします。働き方改善では、総実労働時間短縮のための長時間労働克服に向けた労使協働の取り組み、仕事と生活の両立支援に関しては、育児休業の取得しやすい環境づくりに関する要求、そして長年会社を支えてくれている組合員の安定した雇用と待遇改善獲得のため、定年延長とそれともなう労働条件改善にも取り組みます。  
 ともに頑張りましょう！

ウオロク労組 那須野 執行委員長

飛田 支部長



#### 3/8 新潟労働局に対する 2022春季生活闘争に関わる要請



連合新潟は、3月8日新潟労働局、3月9日花角新潟県知事へ「2022春季生活闘争に関わる要請書」を手交し、要請と意見交換を行いました。要請項目は3分野15項目におよびますが、2022年4月から施行される女性活躍推進法の一部改正など法改正に対する取り組み、長期化するウイルス感染症に対する雇用維持の取り組み、取引の適正化、カスタマーハラスメント対策などについて求めました。  
 出席の副会長（飛田新潟県支部長、松長新潟県支部次長）から、それぞれの産業の幅広い意見と要請を行い、花角知事からは「多くの若い人、働く人たちに新潟県を選んでもらうためにも、ハラスメント対策や女性活躍等、新潟県全体で取り組んでいかなければならない」と話がありました。

#### 3/9 新潟県に対する 2022春季生活闘争に関わる要請



花角 新潟県知事、秋野 連合新潟会長  
 松長次長、飛田支部長

#### 新型コロナウイルス禍においても組合員に響く活動を 新潟鉄道荷物労働組合 活動紹介

～ 組合バッジに思いを寄せる ～  
 昨年10月に第53回目の定期大会を迎えた新潟鉄道荷物労働組合（企業名は新潟鉄道荷物株、JR東日本のグループ企業内のトラック輸送）は、昨年の組合活動の中で、組合バッジを作成しました。その経緯について、中村正治執行委員長から、熱い想いを伺いました。



- Q バッチを作ろうと思った動機、きっかけは？  
 A 自分たちが決めたことを実行する、自立した組合運営を目指したいと思い、その象徴として作成しました。また、デザインは組合員に公募しました。  
 Q バッチを作成し、身に付けてみた感想は？  
 A 同じものを身にまとうことで、共通意識が強くなりました。今後も交渉め全ての組合活動時にバッジを胸につけて活動しようと決めました。



縦に徹った二本の線は鉄道のレール



バッジを胸に、インフラサービス物流分科会に出席をした組合執行部の皆さん